



2021年2月15日

各位

会社名 東海汽船株式会社
 代表者名 代表取締役社長 山崎潤一
 (コード番号 9173 東証第2部)
 問合せ先 執行役員 管理本部長 倉崎嘉典
 (TEL 03-3436-1131)

2020年12月期通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2020年11月9日に公表いたしました2020年12月期(2020年1月1日~2020年12月31日)の通期業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値との差異について

2020年12月期 通期連結業績予想と実績値との差異(2020年1月1日~2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 8,850	百万円 △620	百万円 △520	百万円 △520	円 銭 △236.92
実績値(B)	8,970	△415	△322	△328	△149.54
増減額(B-A)	120	204	197	191	
増減率(%)	1.4	—	—	—	
(参考)前期実績 (2019年12月期)	11,114	△73	3	24	11.35

2020年12月期 通期個別業績予想と実績値との差異(2020年1月1日~2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 8,200	百万円 △150	百万円 △210	百万円 △440	円 銭 △200.47
実績値(B)	8,307	8	△60	△247	△112.75
増減額(B-A)	107	158	149	192	
増減率(%)	1.3	—	—	—	
(参考)前期実績 (2019年12月期)	9,175	6	7	5	2.38

2. 差異が生じた理由

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当社グループの営業基盤である東京諸島においても来島者数は大幅に減少しました。

第4四半期においては、引き続き感染症拡大の予防措置を講じつつ、GoToキャンペーンの効果を最大限に活用し、東京の島ならではの企画商品の造成や旅行会社との連携をより一層深めて販売活動を強化するなど、観光需要の回復に取り組みました。さらに、旅行を自粛していた釣り客やダイバーなどのリピーターも加わり、来島者数は想定を超える水準で推移しました。また費用面では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が先行き不透明な状況を踏まえて全社的にコストの抑制や削減を継続したことや効率的な配船による船舶燃料費の減少もありました。この結果、前回発表の予想から、売上高が上回り、利益面につきましては改善しました。

以 上